

日本芸術文化振興会ニュース

国立劇場 | 国立演芸場 | 国立能楽堂 | 国立文楽劇場
伝統芸能情報館 | 国立劇場おきなわ | 新国立劇場 | 芸術文化振興基金

2020

6



【今月の表紙】

〔見立 雨やどり〕

「梓元乃好にまかせ北窓翁が古園の雨やとりならふて」

6枚続きの内

嘉永元年(1848)頃

香蝶楼豊国画〔三代歌川豊国〕

国立劇場 蔵

より

研修便り

伝統芸能伝承者養成事業～研修修了者の現況～

日本芸術文化振興会が実施する伝統芸能の伝承者養成事業は、50年にわたる取組を重ね、現在約300名の研修修了者が活躍しています。

歌舞伎俳優、歌舞伎音楽（竹本、鳴物、長唄）、大衆芸能（寄席囃子、太神楽）、文楽（三業）、能楽（三役）、組踊（立方、地方）の研修生は、国立劇場（本館、文楽劇場、能楽堂、おきなわ）の各施設で研鑽に努め、修了後は各分野で舞台出演の経験を重ねています。

伝統芸能の保存及び振興に大きな役割を果たしている研修修了者の現況を、分野毎に概観します。

歌舞伎俳優

区 分	歌舞伎俳優	内 訳	
		名 題	名題下
総 数	303人	191人	112人
研修修了者 (第1期～23期)	97人 [87]	40人	57人
研修修了者の 占める割合	32.0%	20.9%	50.9%

歌舞伎音楽（竹本）

区 分	竹本演奏者	内 訳	
		太 夫	三味線
総 数	33人	17人	16人
研修修了者 (第1期～23期)	29人 [13]	16人	13人
研修修了者の 占める割合	87.9%	94.1%	81.3%

歌舞伎音楽（鳴物）

区 分	鳴物演奏者
総 数	40人
研修修了者(第1期～16期)	15人 [10]
研修修了者の占める割合	37.5%

歌舞伎音楽（長唄）

区 分	長唄演奏者
総 数	45人
研修修了者(第1期～7期)	10人 [2]
研修修了者の占める割合	22.2%

大衆芸能（寄席囃子）

区 分	寄席囃子演奏者
総 数	26人
研修修了者(第1期～15期)	24人 [21]
研修修了者の占める割合	92.3%

大衆芸能（太神楽）

区 分	太神楽演技者
総 数	22人
研修修了者(第1期～7期)	10人 [3]
研修修了者の占める割合	45.5%

文楽

区 分	文楽技芸員	内 訳		
		太 夫	三味線	人形遣
総 数	84人	20人	21人	43人
研修修了者(第1期～28期)	46人 [29]	10人	12人	24人
研修修了者の占める割合	54.8%	50.0%	57.1%	55.8%

能楽（三役）

区 分	三役 (能楽協会会員)	内 訳					
		ワ キ	笛	小 鼓	大 鼓	太 鼓	狂 言
総 数	381人	50人	56人	57人	42人	33人	143人
研修修了者(第1期～9期)	29人 [9]	6人	5人	5人	1人	5人	7人
研修修了者の占める割合	7.6%	12.0%	8.9%	8.8%	2.4%	15.2%	4.9%

組踊

区 分	組踊演者	内 訳					
		立 方	地 方				
			歌三線	箏	笛	胡 弓	太 鼓
総 数	264人	65人	113人	46人	14人	14人	12人
研修修了者(第1期～5期)	47人 [1]	22人	20人	2人	2人	0人	1人
研修修了者の占める割合	17.8%	33.8%	17.7%	4.3%	14.3%	0.0%	8.3%

いずれも令和2年4月1日現在 []は転業者等で外数

【主催公演等中止のお知らせ】

新型コロナウイルス感染症対策に係る政府の緊急事態宣言等を受け、日本芸術文化振興会では、5月31日までの主催公演等および6・7月の鑑賞教室を中止し、その後の公演等再開に向けて準備を進めてまいりました。しかしながら、感染予防のため引き続き行動変容の徹底への協力が求められている状況に鑑み、6月30日までのすべての主催公演等を中止することといたします。

公演等を心待ちにしてくださっていた皆様には、深くお詫び申し上げます。
振興会では、様々な伝統芸能をお楽しみいただけるコンテンツを配信しておりますので是非ご覧ください。

なお、ご購入いただいたステージのチケット代金は払い戻しいたします。
詳細につきましては、日本芸術文化振興会のホームページ (<https://www.ntj.jac.go.jp/>) をご確認ください。

何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。(5月11日時点)

目 次 CONTENTS

日本芸術文化振興会ニュース

Japan Arts Council 2020

研修便り	—	1
国立劇場おきなわ	—	2
新国立劇場	—	3
6月公演カレンダー	—	4～7
芸術文化振興基金 助成事業の事例紹介	—	8, 9
日本博	—	10, 11
新しい基金の設置に関するご案内	—	12

【おことわり】

本誌掲載の公演・イベント等につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大のリスクを低減するため、開催を中止・変更する場合がございます。最新の情報は各ホームページ等でご確認をお願いいたします。

新国立劇場 ソーシャルメディア公式アカウントのご案内

新国立劇場 ソーシャルメディアアカウントでは、ご自宅でも楽しめるコンテンツや情報をお届けしています。

中でもYouTubeチャンネルでは、公演中止となったオペラ『ジュリオ・チェーザレ』稽古場ドキュメントや、レクチャー企画・大野和士のオペラ玉手箱with Singers『ホフマン物語』、新国立劇場バレエ団公演ハイライト映像集など、数々の特別映像を配信しています。

長期にわたりご自宅などでの待機を余儀なくされている皆様や、そして舞台芸術を愛する皆様、ぜひご自宅でソーシャルメディア上のコンテンツをお楽しみください。



大野和士のオペラ玉手箱with Singers『ホフマン物語』



新国立劇場バレエ団公演ハイライト映像集『くるみ割り人形』

YouTube
<https://www.youtube.com/user/NewNationalTheatre>

Facebook
オペラ <https://www.facebook.com/nnttopera>
バレエ <https://www.facebook.com/nnttballet>
演劇 <https://www.facebook.com/nnttplay>

Twitter
オペラ https://twitter.com/nntt_opera
バレエ https://twitter.com/nntt_ballet
演劇 https://twitter.com/nntt_engeki

Instagram
オペラ https://www.instagram.com/newnationaltheatre_tokyo_opera/
バレエ <https://www.instagram.com/nationalballetjapan/>
演劇 https://www.instagram.com/nntt_engeki/

国立劇場おきなわでは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月の自主公演をすべて中止いたします。

公演情報につきましては、随時、当劇場のホームページに掲載いたします。公演が再開されました際には、多くの皆様のご来場を心よりお待ち申し上げます。また、ホームページでは、組踊をはじめとする沖縄伝統芸能の紹介や各種情報も掲載しておりますのでご覧ください。

組踊の世界へようこそ【文化デジタルライブラリー】

1719年の初演から昨年で300年の節目を迎えた組踊。ミュージカルともいわれる組踊では音楽が重要な役割を果たしています。地謡とよばれる音楽チームが歌と三線・箏・笛・胡弓・太鼓の5つの楽器を使い、登場人物の心情や場面を表すほかに登場曲や効果音を担当します。組踊の歴史や楽しみ方を映像でわかりやすく紹介しています。



組踊「二童敵討」



組踊「執心鐘入」

友の会

国立劇場おきなわが主催する組踊等の沖縄伝統芸能、沖縄の芸能に影響を与えた本土の芸能やアジア・太平洋地域の芸能の公演を、より便利に楽しんでいただくための会について、入会方法や会員特典をご案内しています。

施設利用

大劇場、小劇場、大小7つの稽古室について、使用申し込み方法や使用料をご案内しています。

組踊研修生

伝統組踊保存会の協力を得て平成17年度から実施している組踊研修について、研修概要、修了生メッセージ、修了者で構成された「子の会（しーのかい）」などを紹介しています。

資料展示室

7月11日（土）から開室いたします。

レファレンスルーム

6月2日（火）から開室いたします。

6月公演カレンダー

太字 は日本芸術文化振興会の主催公演

国立劇場チケットセンター
(午前10時～午後6時)
0570-07-9900
/03-3230-3000 (一部IP電話等)

国立劇場

国立演芸場

国立能楽堂

国立文楽劇場

6月	大劇場	小劇場	演芸場																			
1 月	歌舞伎鑑賞教室 2日(火)～21日(日)		国立名大会																			
2 火				特別企画公演																		
3 水					上席 1日(月)～10日(水)																	
4 木							邦楽公演															
5 金									立川談笑 夢空間 独演会 0570-66-6600													
6 土											真一文字の会 柳亭市馬事務所オフィスエムズ ～春風亭之輔能楽会～ 03-6277-7403											
7 日													〈備小屋〉水無月の いがぐみ 独り看板入船亭扇辰 03-6909-4101									
8 月															三遊亭遊馬独演会 三遊亭 遊馬 090-6542-1647							
9 火																	落語坐 こみち堂 産業経済新聞社 柳亭こみち独演会 03-3243-8343					
10 水																			白酒ひとり ネイティブランプーン 050-3655-6277			
11 木																					中席 11日(木)～20日(土)	
12 金																						
13 土		落語研究会 TBSテレビ 03-3746-6666																				
14 日																						
15 月					第73回 宝井 琴調 講談かぶら矢会 090-8086-5192																	
16 火																						
17 水																						
18 木																						
19 金																						
20 土																						
21 日																						
22 月																						
23 火																						
24 水																						
25 木																						
26 金																						
27 土																						
28 日																						
29 月																						
30 火																						

6月	能楽堂	文楽劇場	文楽劇場小ホール																				
1 月	能楽鑑賞教室 22日(月)～26日(金)	文楽鑑賞教室 5日(金)～18日(木)																					
2 火																							
3 水																							
4 木																							
5 金																							
6 土																							
7 日																							
8 月																							
9 火																							
10 水																							
11 木																							
12 金																							
13 土																							
14 日																							
15 月																							
16 火																							
17 水																							
18 木																							
19 金																							
20 土																浪曲特選会							
21 日																							
22 月																							
23 火																							
24 水																							
25 木																							
26 金				創立15周年記念 関西新舞踊協会 関西新舞踊協会舞踊公演 06-6628-8412																			
27 土																							
28 日																							
29 月																							
30 火																							

自主公演以外については、それぞれの記載の電話番号にお問い合わせください。
なお、主催者の都合により掲載していない公演がございます。

6月公演カレンダー

新国立劇場主催公演に関する
◆お問い合わせ先◆
新国立劇場ボックスオフィス
TEL. 03-5352-9999

国立劇場おきなわの主催公演に関する
◆お問い合わせ先◆
国立劇場おきなわ
チケットカウンター
TEL. 098-871-3350

新国立劇場

太字 は新国立劇場の主催公演

6月	オペラパレス	中劇場	小劇場
1	月		
2	火		
3	水		
4	木		
5	金		
6	土		
7	日		
8	月		
9	火		
10	水		
11	木		
12	金		
13	土		
14	日		
15	月		
16	火		
17	水		
18	木		
19	金		
20	土		
21	日		
22	月		
23	火		
24	水		
25	木		
26	金		
27	土		
28	日		
29	月		
30	火		

バレエ公演
「不思議の国のアリス」
5日(金)～14日(日)

オペラ公演
「ニュルンベルクのマイスタージンガー」
21日(日)～30日(火)

ダンス公演
小野寺修二
カンパニー・デラシネラ
「ふしぎの国のアリス」
20日(土)～28日(日)

※5月8日現在

国立劇場おきなわ

太字 は国立劇場おきなわの主催公演

6月	国立劇場おきなわ大劇場	国立劇場おきなわ小劇場
1	月	
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	

企画公演

琉球舞踊公演

沖縄芝居公演

芸術文化振興基金

〒102-8656 東京都千代田区隼町4-1

電話03-3265-6302(直通) <https://www.ntj.jac.go.jp/kikin.html>

■日本芸術文化振興会の助成事業の事例紹介

芸術文化振興基金による助成事業

芸術文化振興基金の運用益により、芸術団体等の行う文化の振興又は普及を図るための活動に対して助成しています。

第43回 湯布院映画祭

[分野：国内映画祭等の活動 国内映画祭]

湯布院映画祭実行委員会

【活動概要】

映画の創り手である実製作者と、受け手である観客との出会いと交流のため、また日本映画の活性化と発展の場を目指して、1976年、「映画館一つない町、しかしそこに映画はある」をテーマに第1回映画祭を開催。日本を代表する温泉地・大分県湯布院町（現由布市）で開催される映画祭として40年以上の歴史を重ね、日本映画ペンクラブ奨励賞、山地ふみ子文化財団特別賞、文化庁長官賞、西日本文化賞など数々の賞を受賞したほか、2017年には第8回地域再生大賞大分県代表に選出されるなど、映画祭による地域活性化の実績が高く評価されている。

第43回を数える2018年は、「佐藤浩市特集」を柱として、湯布院公民館（由布市湯布院町）を会場に8月23日（前夜祭）、24日～26日に開催。佐藤浩市氏をはじめ俳優、監督、評論家など多彩なゲストを招き、映画上映とシンポジウム計14回を行い、約3,000人の参加者を集めた。

【助成を受けて】

自分たちの感性を自由に企画・立案することを趣旨として開始した映画祭だけに、当初は、スポンサーや団体から経済的支援を受けないスタンスでした。しかし、映画祭を継続していくためには外部の資金援助も必要との大分県地域振興関係部署からのアドバイスを受け、貴助成金を申請しました。助成により、映画祭に必要な映写技師の確保や作品及び上映機器の借用を賄ったほか、大物ゲストの招へいも可能になりました。また、貴助成金を受けること自体が映画祭の信頼度を向上させ、地方公共団体への各種協力依頼や、マスコミを含めた後援依頼を行う際の手続きがより円滑になりました。

地方で開催する映画祭として、コアな映画ファンを取り込みつつも、地域の人々も楽しめる映画祭にするために、湯布院映画祭の特色を出せる企画づくりにいつも腐心しています。ボランティアの方などを含め、地域の人々を巻き込み、結果的に地域の活性化にも繋がるのが、当映画祭の公益性だと考えます。

今回の映画祭では、特集の柱とした俳優・佐藤浩市氏がシンポジウムに参加して下さり、観客からの質問にも真摯に答え、映画に対する熱い思いを語っていただいたことが大きな成果でした。名声を得てなお、絶えず研鑽を重ね、いかに自己実現を図るかを熟考する氏の姿勢は、多くの観客に共感を持って迎えられたと思います。観客それぞれにとっても、人生や仕事との向き合い方に改めて思いを馳せられる貴重な機会となりました。

観客やゲストを含めて、湯布院でしか出会えないであろう機会をこれからも作り続けていくことが、「映画館一つない町、しかしそこに映画はある」をキャッチフレーズに始まった当映画祭の一貫したテーマです。今後も助成金を有効に活用させていただき、訪れた方や地域の人々にとって記憶に残る映画祭を続けていきたいと思っています。



舞台挨拶

〔平成30年度芸術文化振興基金・文化芸術振興費補助金助成事業事例集〕より抜粋

振興会で実施している2つの助成事業により支援した活動をご紹介します



文化芸術振興費補助金による助成事業

文化庁からの補助金により、芸術の水準向上に直接的な牽引力となる舞台芸術の創造活動や国際的な実演芸術の公演活動、劇場・音楽堂等が主体となって行う実演芸術の創造発信、優れた日本映画の製作活動等に対して助成しています。

万引き家族

[分野：映画製作への支援 劇映画 特別]

株式会社フジテレビジョン

【活動概要】

是枝裕和監督が日本社会の底辺に生きる人々と、家族の絆のあり方を描いた意欲作。社会問題を扱いながら、ひとつの家族を描いた本作は、これまで同局が製作してきた多くの商業的作品とは異なる挑戦的な作品となった。下町の一軒家に暮らす6人の家族が、ある事件をきっかけにバラバラとなり、彼らの抱える秘密が次第に明らかになってゆく――。

第71回カンヌ国際映画祭のコンペティション部門に正式出品され、日本人として21年ぶりとなる最高賞《パルムドール》を受賞。国内でも大きな注目を集めた結果、アート性の高い作品としては異例の全国330館以上という公開規模に拡大した。2017年12月より撮影開始、2018年4月16日に初号試写、5月13日にカンヌ国際映画祭にてワールドプレミア上映。国内では6月8日より劇場公開された。上映時間121分。

【助成を受けて】

ひとつの家族を通して、日雇い労働者、年金詐欺、JKビジネス、ネグレクトといった題材を扱った本作は、報道だけでは捉えられない社会問題を、鑑賞者がより主体的に感じられるような意欲作となりました。是枝監督の作家性が強い作品で、社会的・文化的に意義深いプロジェクトだったものの、多くのテレビ局主導映画とは異なり、宣伝・公開規模共に小規模となることを見込まれました。予算も制限される中、デジタルカメラでは再現できない表現のためにフィルムでの撮影を行うことや、異なる季節での撮影を行いたいという意向もあり、作品の品質を保つために貴助成金の助成を申請しました。助成金をいただいたことで必要な準備・体制を組むことができ、監督の意図を実現できた点も多く、本作は、カンヌ国際映画祭において《パルムドール》を受賞するに至りました。185以上の国と地域で公開されたほか、国外で65を超える映画賞を受賞する成果を収め、日本映画の質の高さを世界に知ってもらう機会に恵まれました。

また、本作に注目が集まったことを機に、是枝監督が劇場や学校に招かれる機会も増えました。例えば、監督によるティーチンでは作品の内容に留まらず、日本映画の歴史と未来や、海外と比較した制作システムについてなど闊達な質疑応答が行われ、日本映画産業の発展について考える機会が広く提供されたことは、本作がもたらした公益性のひとつと考えています。

今回のように社会問題に目を向けた題材や、監督の作家性を重視した作品などの製作を通して、これからも日本映画の多様性に寄与していきたいと思っています。今後も小規模作品や興行成績予測を立てることが難しい挑戦的な作品づくりに際し、ぜひ助成金を活用させていただきたいと考えています。



万引き家族 撮影風景 ©2018『万引き家族』製作委員会

〔平成30年度芸術文化振興基金・文化芸術振興費補助金助成事業事例集〕より抜粋

○イノベーション型プロジェクト

No.	プロジェクト名	組織・団体名
1	北前船が繋ぎ育てた数多の地域。各地で文化の「百花繚乱」プロジェクト。	一般社団法人北前船交流拡大機構
2	世界遺産リレー催事による日本文化発信プロジェクト	世界遺産リレー催事実行委員会
3	ファンタスティック岩手—復興フェスティバル	幸せ出ずる国いわて実行委員会
4	「SAMURAI SPIRIT×FUKUSHIMA PRIDE」	福島県
5	東北・新潟の復興と伝統文化の魅力体験できる「東北ハウス」事業	「東北ハウス」実行委員会
6	東北の6つの伝統的夏祭りが一体となった「東北絆まつり」による東北の復興、魅力発信プロジェクト ～2020年を契機とした首都圏巡回プロモーション～	東北絆まつり実行委員会
7	ないじえる芸術共創ラボ 古N典ボララーアート！ IN NIPPON	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館
8	福岡古代史探訪～沖ノ島・宗像・太宰府～(仮称)	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 保存活用協議会
9	継承される伝統と現代の融合 ～能楽師 観世清和とコンソジュンコの未来日本芸術～(仮)	株式会社インプレザリオ
10	「世界太鼓大会」を契機とした和太鼓による国際ネットワーク形成・人材育成・社会包摂・多文化共生推進事業	World Taiko Conference 実行委員会
11	東京オリンピック・パラリンピックを契機に、東京・大手町で日本文学と伝統芸能の普及・啓発を図る4催事連携プロジェクト(仮)	読売新聞東京本社
12	令和の万葉大茶会(仮称)	令和・家持ネットワーク協議会
13	summer HANAMI tokyo(仮称)	株式会社アイアンドエス・ビービーディオー
14	最先端のホログラム芸術を新たに融合した、14年目を迎えるアートアクアリウム日本橋常設化プロジェクト	株式会社Amuseum Parks
15	「GO FOR KOGEI～北陸で出会う、工芸の可能性～」	認定NPO 法人 趣都金澤
16	「TGC×地域文化資産」～東京ガールズコレクション地方開催との連携による地域伝統行事の振興と食文化の魅力発信～	株式会社W TOKYO
17	ハケ岳JOMONライフフェスティバル	茅野市
18	世界文化遺産東大寺国際芸術プロジェクト	世界文化遺産東大寺国際芸術プロジェクト 実行委員会
19	多彩な表現展—陶板でめぐる日本美の世界(仮称)	大塚オーミ陶業株式会社

○文化資源活用推進事業

No.	プロジェクト名	組織・団体名
1	札幌国際芸術祭を核に地域の文化芸術資源を活用した文化芸術振興及び観光インバウンド活性化事業	札幌市
2	パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌(PMF)開催事業	札幌市
3	「AOMORIトリエンナーレ」を核とした文化芸術地域活性化事業	青森市
4	群馬県戦略的文化芸術創造事業	群馬県
5	さいたまBONSAIみらいフェア開催事業	さいたま市
6	武家の故郷ながわの伝統と現代の融合	神奈川県
7	創造的イノベーション事業	横浜市
8	日本遺産等を活用した旧軍港都市・横須賀東海岸「文化財×自然×文化芸術」推進事業	横須賀市
9	霊峰大山大で出会う日本の伝統・江戸の粋 事業	伊勢原市
10	雪国縄文文化からの発信—津南町文化財発信事業—	津南町
11	利賀から世界へ・世界から利賀へ ～世界的舞台芸術拠点形成事業	富山県
12	いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭開催事業	石川県
13	日本のあけぼのと祈りのみやこ ～壬申の乱の時代と初期齋宮～	三重県
14	京都府域展開アートプロジェクト「もうひとつの京都」	京都府
15	シルクロードいま昔	京都市
16	京都の美・日本の美・百花爛漫 ～日本の博覧会150年～	京都市
17	現代アートを基軸にした文化芸術創造拠点形成・観光インバウンド拡充事業～日本版ボンビドーセンター 京都・岡崎～	京都市
18	京都の文化・観光資源を活用したメディア芸術・コンテンツ産業振興事業	京都市
19	「大阪文化芸術フェス」事業	大阪府
20	ものの始まりなんでも堺：文化芸術創造都市プロジェクト	堺市
21	日本の美 国宝松江城 と 日本の面影 体感プロジェクト	松江市
22	山口ゆめ回廊博覧会を契機とした「画僧雪舟を生んだ大内文化」交流創造・発信事業	山口市
23	アニメの聖地徳島！ 日本博における「マチ★アソビ」を活用したインバウンドの獲得強化及び地域活性化事業	徳島県
24	東アジア文化都市2020北九州推進事業	北九州市
25	創造県おいた国際発信事業	大分県

○国際的文化フェスティバル展開推進事業（長期開催型）

No.	プロジェクト名	組織・団体名
1	「大地の芸術祭の里」ブランディング強化による海外インバウンド拡充事業	十日町市
2	アース・セレブレーションを核とした佐渡の国際的フェスティバル展開事業	アース・セレブレーション実行委員会

令和2年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業

(令和2年4月17日現在)



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた企画の中止・延期やスケジュールが変更になる場合があります。詳細については、各企画ウェブサイトでご確認ください。

○主催・共催型プロジェクト

No.	プロジェクト名	組織・団体名
1	東京2020大会・日本博を契機とした障害者の文化芸術国際交流事業フェスティバル	障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会
2	ウテカンパ フェスティバル ～未来に向かって、手をつなごう～	文化庁企画調整課
3	寄席「笑楽座」2020	公益社団法人 落語芸術協会
4	障害者の文化芸術創造拠点形成プロジェクト	ビッグ・アイ共働機構 (国際障害者交流センター)
5	「日本博×CLUB RED(仮称)」	株式会社エヌケービー
6	我が国の美術工芸品等修理の技と自然の原材料を活かした伝承・活用事業—国宝重要文化財(美術工芸品)保存修理成果の現地公開—	株式会社近畿日本ツーリストコーポレートビジネス
7	新・視聴体感芸術(NOVA)の創造・上演による日本の舞台芸術における創造力・連携力・誘客力向上プロジェクト	株式会社 北前船
8	日本遺産を活かした伝統芸術ライブ「NOBODY KNOWS」プロジェクト	公益社団法人日本芸能実演家団体協議会
9	「伝統の名匠展2020～自然とともにある日本の文化財修理の技～」(仮称)	株式会社NHKプロモーション
10	日本のためにも—自然素材を伝統技術に活かす知恵	文化庁文化財第二課 国立近現代建築資料館
11	特別展「きもの KIMONO —自然を映す色と模様の世界」	独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館
12	特別展「法隆寺金堂壁画と百済観音」	独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館
13	親と子のギャラリー—まるごと体験！日本の文化 ※昨年の「よらい」の拡充事業	独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館
14	特別展「ジバンギ 世界と出会った日本の美」	独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館
15	「MANGA 都市 TOKYO ニッポンのマンガ・アニメ・ゲーム・特撮 2020」	独立行政法人国立美術館 国立新美術館
16	隈研吾展 先端技術を用いた映像による建物および被災地の紹介と共生社会型の都市への提案(仮称)	独立行政法人国立美術館 東京国立近代美術館
17	ピクチャレスク・ジャパン 世界が見た明治・大正の日本(仮称)	独立行政法人国立美術館 国立映画アーカイブ
18	きのこ・カビ・酒～日本の自然と人が育んだ食文化	独立行政法人国立科学博物館
19	企画展「国立公園-その自然には物語がある-」	独立行政法人国立科学博物館
20	「工芸2020—自然と美のかたち—」	独立行政法人日本芸術文化振興会
21	「日本博」皇居外苑特別公演(仮称)	独立行政法人日本芸術文化振興会
22	ユネスコ無形文化遺産 特別展「体感！日本の伝統芸能—歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊の世界—」	独立行政法人日本芸術文化振興会
23	「伝統芸能」にみる「日本人と自然」	独立行政法人日本芸術文化振興会 国立劇場
24	子どもたちとアンドロイドが創る新しいオペラ「Super Angels スーパーエンジェル」	公益財団法人新国立劇場運営財団
25	世界初演・新作バレエ公演「竜宮 りゅうぐう」～亀の姫と季(とき)の庭～	公益財団法人新国立劇場運営財団
26	東京2020オリンピック・パラリンピック能楽祭	公益社団法人能楽協会
27	「神宮の杜芸術祝祭」 祭る。祈る。創る。—持続可能な自然と芸術文化—	神宮の杜芸術祝祭実行委員会 一般社団法人アートパワーズジャパン
28	企画展「国立公園—その自然には物語がある—」連携事業	株式会社日本国際放送
29	特別展「縄文 —東京の縄文人、一万年の暮らし—(仮称)」	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
30	日本の文化、伝統に出会う(仮題)	一般社団法人国際児童青少年舞台芸術協会 日本センター
31	ショートショートフィルムフェスティバル & アジア 2020	株式会社パシフィックボイス
32	日本の自然と書のかたち「日本の書200人選～東京2020大会の開催を記念して～」	東京2020オリンピック・パラリンピック記念書展 実行委員会
33	特別展「あるがままのアート—人知れず表現し続ける者たち—」2019-2020プロジェクト～美術・教育、公共メディア、福祉・共生社会の分野連携による文化レガシー創出～	国立大学法人東京芸術大学
34	翁プロジェクト —能楽の原点から日本を探る—	翁プロジェクト実行委員会
35	和の音色を継いで未来へ	公益社団法人日本三曲協会
36	国立工芸館石川移転記念展「工の芸術—素材・わざ・風土」(仮称)	独立行政法人国立美術館 東京国立近代美術館
37	国際芸術祭BIWAKOビエンナーレ2020 “森羅万象～COSMIC DANCE”	国際芸術祭BIWAKOビエンナーレ実行委員会
38	特別展「京の国宝—守り伝える日本のたから—」	独立行政法人日本芸術文化振興会
39	森口邦彦 友禪/デザイン 交差する自由へのまなざし	独立行政法人国立美術館 京都国立近代美術館
40	みやぎの神楽 魅力発信強化プロジェクト	宮崎県
41	日本書紀・藤原不比等を巡る奈良県博覧プロジェクト	奈良県
42	神々の集う国「出雲」体験フェスタ ～日本博in出雲～(仮称)	出雲市
43	「響きあう、人・海・芸術～せとうち交響」プロジェクト	せとうちパレット日本博実行委員会
44	「神宿る島」国際文化芸術プロジェクト	宗像国際環境会議実行委員会
45	開館15周年特別展覧会「海幸山幸」関連企画	独立行政法人国立文化財機構 九州国立博物館
46	琉球王朝の美～組踊、その継承と発信～	公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団

文化芸術を支援する2つの基金が設置されました 皆様からのご支援をお願いいたします



新型コロナウイルス感染症の影響により、国内の文化芸術団体は長期にわたる公演中止など、非常に厳しい状況に置かれています。

国立劇場各館においても既に準備を進めていた公演を含め、長期間休業いたしました。公演中止により、伝統芸能を担う実演家や技術者の方々に活動の場を提供できないことで、伝統芸能の保存と継承も厳しい局面にさらされています。

様々な文化芸術活動の存続を支援し、また、国立劇場各館の公演等の事業を継続するため、この度、2つの基金を設け、皆様からのご支援を募ることといたしました。

「我が国の文化芸術活動を守り、様々な文化芸術団体の活動を後押ししたい」

「寄附」

文化芸術復興創造基金

「舞台芸術・美術等」「地域文化関係」「文化財関係」「映画芸術関係」

※文化芸術団体からの要望を審査の上助成します。
※ただし、対象とする活動を限定して行う場合があります。

「世界に誇る伝統芸能を未来に継承する、国立劇場各館の事業を応援したい」

「寄附」

くろごちゃんファンド

「伝統芸能の公開」（歌舞伎 文楽 舞踊 邦楽 雅楽・声明 民俗芸能 大衆芸能 能楽 琉球芸能ほか）、「その他伝統芸能の保存振興」（伝承者の養成 調査研究、資料の収集・活用 施設・設備の充実ほか）

※国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場・国立劇場おきなわの各館での事業に役立てさせていただきます。

◎寄附により税制上の優遇措置を受けることができます。

◎国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場での公演中止により払い戻しを受けた方は、払戻合計金額（20万円）までのご寄附を「くろごちゃんファンド」にいただくと、さらに高い税優遇を受けられることがあります。

◎ご寄附は日本芸術文化振興会にて承ります。詳しくは下記までお問い合わせください。



●お問い合わせ
寄附担当
(総務課お客様相談室)
03-3265-7411 (代表)
donation@ntj.jac.go.jp

中止公演の払い戻しを受けずに寄附する場合の税制上の優遇制度

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた措置を円滑に実施することが喫緊の課題となっている中、政府の自粛要請等を受けて文化芸術・スポーツイベントの中止、延期又は規模の縮小が相次いでいます。そうしたイベントについて、チケット等を購入した個人がその払戻しを受けることを辞退した場合に他の寄附金控除と同様の税負担の軽減を行う特例措置を講じることにより、文化芸術・スポーツ活動への支援の動きを後押ししようとするものです。

本制度では、文部科学大臣の指定を受けたイベントの参加予定者である納税者が、チケット等の払戻しを受けずに当該イベントの主催者に寄附する場合、そうした払戻額（年間合計20万円が上限）について、所得控除又は税額控除のいずれかを選択して税優遇を受けることが可能になります。

〔文部科学省ガイドラインより抜粋〕

日本芸術文化振興会では、中止した以下の主催公演について、この制度の対象となる指定を受けております。

対象公演

- 〔国立劇場 大劇場〕
5月 特別企画
- 〔国立劇場 小劇場〕
3月 歌舞伎 4月 舞踊・邦楽 5月 文楽 6月 邦楽 雅楽

- 〔国立演芸場〕
3月 上席 花形 中席 名人会
4月 上席 中席 花形 名人会
5月 中席 名人会 花形 特別企画

- 〔国立能楽堂〕
2月 特別
3月 定例 青翔会 普及 定例 特別企画
4月 定例 普及 定例 企画 企画
5月 普及 定例 狂言企画 定例 特別

- 〔国立文楽劇場〕
2月 浪曲名人会 4月 文楽 5月 舞踊・邦楽
- 〔国立文楽劇場 小ホール〕
3月 上方演芸特選会
5月 上方演芸特選会 浪曲錬声会

本制度の特徴

○通常のご寄附でも税制上の「所得控除」の優遇措置がございしますが、この制度を活用すると、「所得控除」と「税額控除」から有利な方を選択できます。
※通常は税額控除の方がより減税になります。
○国立劇場各館では、既にほとんどのお客様に払い戻しの手続きを完了しておりますが、この制度は払い戻し済みでも適用されます。
※趣旨に賛同し、ご寄附されるお客様にはお手数ですが、再度お振込みいただく必要がございません。
※本制度の適用額は払い戻しの合計金額（20万円）が上限です。

本制度の流れ

1. 「申請書」をお送りいたしますので、左記担当までお申し付けください。（振興会ホームページ掲載の書式もご利用いただけます）

【ご寄附に関するお問い合わせ・申請書送付先】

電話 03-3265-7411 (代表)
FAX 03-3265-7402
郵便 〒102-8656 千代田区隼町4-1
日本芸術文化振興会 寄附担当 宛て
メール donation@ntj.jac.go.jp

- 必要事項をご記入の上、ファックス、郵便、メールのいずれかの方法でお送りください。
- お申し出の内容を確認させていただいた後、お振込みについてお知らせします。
- 金額をお確かめの上お振込みください。
- 入金確認後、証明書類をお送りします。
- 証明書類を確認申告にご利用ください。



6月号
日本芸術文化振興会ニユース
(月刊)

印刷 勝美印刷株式会社
令和2年6月1日発行 通巻62号(昭和43年5月1日創刊)
発行 独立行政法人 日本芸術文化振興会 〒102-8656
東京都千代田区隼町4-1-1 03-3265-7411 (代表)

It's not just art. It's how we see the world.

自然を敬い畏れ、尊重する感性。暮らしの中に四季を取り入れる美意識。伝統を現代に生かす柔軟な発想。日本の美に目をこらすと、その奥に、私たちの多様な考え方が見えてくるはずです。さあ、日本博をめぐって、美しさの真髄まで味わってください。

「日本の美」を体感する多様な公演・展覧会・芸術祭を全国で開催中 www.japanculturalexpo.bunka.go.jp

